

# セキュリティホワイトペーパー（データ最適化ソリューション\_帳票DX）

株式会社オプロ

データ最適化ソリューション（※）は、株式会社オプロ（以下、当社）が提供するサービスです。

本書は、データ最適化ソリューションをお客様に対し提供するにあたり、

当社の情報セキュリティへの取り組みと、情報セキュリティの観点からお客さまにご注意いただきたい点について紹介するものです。

- ・本書で使用される用語は、本書において特に定める場合を除き、提供条項に定める意味を有するものとします。
- ・本書の内容については、予告なく変更する場合があります。

※

本書におけるデータ最適化ソリューションの対象範囲	帳票DX
--------------------------	------

改定履歴

日付	改定内容
2024/12/9	制定

情報開示項目		内容
情報セキュリティのための組織		
1	情報セキュリティの責任	<p>&lt;当社の責任&gt;</p> <p>当社は、以下のセキュリティ対策を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●データ最適化ソリューションのセキュリティ対策</li> <li>●データ最適化ソリューションに保管されたお客様データの保護</li> <li>●データ最適化ソリューションの提供に利用するインフラストラクチャーのセキュリティ対策</li> </ul> <p>&lt;お客様の責任&gt;</p> <p>お客様は、以下のセキュリティ対策を実施する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各利用者に付与されたパスワードの適切な管理</li> <li>●データ最適化ソリューション アカウントの適切な管理（登録、削除、組織管理者権限の付与など）</li> <li>●データ最適化ソリューションの利用にあたり登録、生成、保管されたコンテンツデータの適切な管理</li> <li>●データ最適化ソリューションに登録する個人情報の取扱いに関する適切な管理</li> </ul>
2	関係当局との連絡体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地理的所在地 東京都中央区京橋2-14-1</li> <li>●データ保管場所 Amazon Web Service（以下、AWS）：東京リージョン</li> <li>●法管轄 提供条項に定めている通り、準拠法は日本法とし、本契約に関する紛争については、日本国東京地方裁判所又は東京簡易裁判所をもって、第一審の専属管轄裁判所としている。</li> </ul>
人的資源のセキュリティ		
3	教育及び訓練	当社は、当社の従業員並びにデータ最適化ソリューションの開発・運用・提供に関する業務委託先に対し、お客様データ（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータ等）及び派生データ（ログ、バックアップデータ等）の適切な利用に関する情報セキュリティ教育を実施しています。
資産の管理		
4	資産の目録	当社は、データ最適化ソリューション上で取り扱うお客様データ（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータ等）及び派生データ（ログ、バックアップデータ等）について、当社内で保持する情報資産管理台帳上で把握・管理しております。
5	目録の中で維持される資産の管理	お客様が、データベースに保管されるお客様の各種情報を暗号化している暗号鍵をお客様自身で破棄するためには、プライベートプランでの契約が必要になります。プライベートプランを契約しつつ、契約時に希望した顧客に関しては専用の鍵で利用者データを暗号化します。暗号鍵の削除をご要望の際には、サポートサイトからご依頼いただく形となります。
6	資産の返却または除去	お客様との契約が終了した場合、契約終了後速やかに、お客様データ（各機能で利用するデータ等）は消去されます。
7	返却または除去する資産の特定	当社は、No.6に記載されている対応を履行すべく、返却及び除去する対象となるデータを情報資産管理台帳によって特定しております。
8	情報のラベル付け	お客様は、ユーザー名、名前、メールアドレスをラベル付けることが可能です。詳しくは、以下をご参照ください。 <a href="https://spc.opro.net/hc/ja/articles/13394252211865">https://spc.opro.net/hc/ja/articles/13394252211865</a>
アクセス制御		
9	アクセス権の登録及び登録削除	お客様は、当社に依頼することでユーザーの登録・削除を行うことが可能です。以下より、ユーザー登録・削除に関する依頼を実施ください。 <a href="https://spc.opro.net/hc/ja">https://spc.opro.net/hc/ja</a>
10	アクセス権の管理	お客様は、XAデザイナーサービスコンソールより、登録したユーザーの権限（管理者ロール/一般ロール）を切り替えることが可能です。詳細は以下をご参照ください。 <a href="https://spc.opro.net/hc/ja/articles/28704285344665">https://spc.opro.net/hc/ja/articles/28704285344665</a>
11	アクセス権の制御	お客様のうち、XAデザイナーへのログイン権限を有するユーザーについては、二つの認証要素を用いて、認証させる「二要素認証ログイン」設定が可能です。
12	秘密認証情報の管理	サービス契約時に、帳票DXをご利用いただくために必要な認証情報の発行を知らせるメールを送付しています。当該メールにおいて、パスワードの設定、ユーザーの認証等について説明しています。
13	ユーティリティプログラム	データ最適化ソリューションを提供するにあたり、直接的に間接的に関わらず、お客様に影響が出る可能性があるユーティリティプログラムの利用はありません。
14	利用者資源の論理的分離	データ最適化ソリューションでは、お客様データ（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータ等）及び派生データ（ログ、バックアップデータ等）を保護するため、以下の論理的分離を実施しています。  テナントIDを顧客ごとに付与し、データベース内のクラウドサービスカスタマデータを論理的に分離している。 なお、プライベートプランで、全て専用にする場合はアプリケーションレベルで論理的に分離している。
15	利用者と事業者間の論理的分離	当社では、お客様環境を保護するため、以下の通り、当社の内部環境と分離を行っています。  お客様の運用環境における仮想化されたアプリケーション、オペレーティングシステム、ストレージ及びネットワーク等は、すべて内部環境（開発環境や試験環境）と分離しています。また、各環境に対するアクセス制御も整備しています。
16	クラウドサービス内のソフトウェア管理	帳票DX内部において実行されるお客様のソフトウェアが関係するリスク対応として、当社では以下を実施しています。 ・セキュリティスキャンの実施：持ち込まれたソフトウェアを事前にスキャンして、脆弱性やマルウェアの存在をチェックする。 ・リソース管理：ソフトウェアの実行時に使用されるリソースをモニタリングし、必要に応じて制限を設ける。 ・アクセス制御：ソフトウェアの実行権限を適切に管理し、不正アクセスを防止する。 ・監査とログ管理：ソフトウェアの実行状況を詳細にログ記録し、定期的に監査を実施する。
17	仮想マシンの設定	帳票DXでは、以下の手法によって仮想マシンの要塞化を行っています。 ・AWS ShieldやWAFを利用して外部からの攻撃を防御する仕組みを構築しています。 ・インターネットからのアクセスには、443のHTTPSのみを許可しています。 ・各サーバーにはエンドポイントセキュリティソフトが導入され、マルウェアを自動的に検知して除去できる仕組みになっています。 ・ソフトウェア構成の変更も監視しており、意図せぬソフトウェアの更新が出来ないようにしています。 ・ネットワークに関してもAWSの機能を利用してログに残しており、不審な通信がないかをチェックできるようになっています。
暗号		
18	暗号技術の利用	帳票DXに保管されるお客様データ（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータ等）及び派生データ（ログ、バックアップデータ等）は、サーバー側の暗号化が実施され、適切なアクセス権のもとで保管されます。また、お客様のログインに用いるパスワードは、ハッシュ化された状態でデータベースに保管されます。
運用のセキュリティ		
19	クラウドサービスの変更に関する情報	メンテナンス情報 <a href="https://opss-info1.opro.net/hc/ja">https://opss-info1.opro.net/hc/ja</a> のメンテナンス情報 障害通知 <a href="https://opss-info1.opro.net/hc/ja">https://opss-info1.opro.net/hc/ja</a> の障害情報 新機能リリース <a href="https://spc.opro.net/hc/ja/articles/16062455056537">https://spc.opro.net/hc/ja/articles/16062455056537</a>
20	容量・能力の監視	帳票DXでは、インフラストラクチャおよびアプリケーションに対する稼働状況や各リソースの利用率などを監視しています。

21	操作手順	<p>データオペティマイズソリューションのご利用にあたり、お客様が利用できる手順書は、下記リンク先より閲覧することが可能です。</p> <p>■ 帳票DX (Salesforce連携) ドキュメント  <a href="https://spc.opro.net/hc/ja/sections/38585213432601">https://spc.opro.net/hc/ja/sections/38585213432601</a></p> <p>■ ドキュメント生成機能 (XA) のドキュメント一覧  <a href="https://spc.opro.net/hc/ja/sections/38577532794777">https://spc.opro.net/hc/ja/sections/38577532794777</a></p> <p>※全てのドキュメントを閲覧するにはサポートサイトへのログインが必要になります。</p> <p>■ 技術的なご質問に関して  技術的なご質問は、以下のサイトよりお問い合わせいただくことが可能です。招待メールを別途送付しますので、メール内の案内に沿ってパスワードを設定してください。  ※既に登録いただいている場合は招待メールは送付されません。</p> <p>○ OPRO Support Service  <a href="https://spc.opro.net/hc/ja">https://spc.opro.net/hc/ja</a></p> <p>○ ご利用方法  <a href="https://spc.opro.net/hc/ja/articles/4605642922265">https://spc.opro.net/hc/ja/articles/4605642922265</a></p>
22	バックアップ	<p>帳票DXでは、テンプレートの定義情報をエクスポートする機能を提供しています。お客様は任意のタイミングでエクスポート機能を使用することで、バックアップとして保持することができます。実際の手順書は、下記リンク先より閲覧することが可能です。</p> <p>[XA] 「XAサービスコンソール」からのテンプレート エクスポート/インポート方法 (.xatファイルの取得・インポート方法)  <a href="https://spc.opro.net/hc/ja/articles/12582288559257">https://spc.opro.net/hc/ja/articles/12582288559257</a></p> <p>[ViewFramer] ビュー・マッピングのエクスポート・インポート方法(Salesforce)  <a href="https://spc.opro.net/hc/ja/articles/900005251363">https://spc.opro.net/hc/ja/articles/900005251363</a></p> <p>[D3Worker] でのワークのエクスポート/インポート方法(Salesforce)  <a href="https://spc.opro.net/hc/ja/articles/4407741283225">https://spc.opro.net/hc/ja/articles/4407741283225</a></p>
23	ログ取得	<p>お客様は、以下のログを取得することが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ログイン履歴 (XA)</li> <li>・ ドキュメントの出力履歴 (XA)</li> <li>・ ジョブの実行履歴 (D3Worker)</li> </ul>
24	クロック同期	<p>帳票DX内で提供されるログは、タイムゾーン JST(UTC+9)で提供されます。  ログの時間は、基盤サービスAWSおよび各OS提供元が提供するNTPサービスと同期されています。</p>
25	監視機能	<p>データオペティマイズソリューションでは、お客様に関する以下の情報を監視することが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ログイン履歴 (XA)</li> <li>・ ドキュメントの出力履歴 (XA)</li> <li>・ ジョブの実行履歴 (D3Worker)</li> </ul>
26	監視機能のアクセス制御	<p>データオペティマイズソリューションでは、各ユーザが参照できるログの種類を以下の通り定めています。また、本機能によって監視できる対象は、お客様自身のクラウドサービスインスタンスのみとなります。</p> <p>ログインユーザーは自身の操作ログを参照できる。  管理者ユーザーは帳票の出力履歴を参照できる。</p>
通信のセキュリティ		
27	IPv6への対応	<p>帳票DXでは、IPv6はサポートしておりません。</p>
システムの取得、開発及び保守		
28	セキュリティを保つための開発手順及び慣行	<p>データオペティマイズソリューションの開発には、以下の言語やセキュアな開発を実現するためのルールが用いられています。またその他、包括的なSDLCを規定したシステム開発のための基準に基づいた開発を実施しています。</p> <p>言語 : Java, JavaScript  OracleのJava Secure Coding Standardに沿って開発されており、FindBugsなどのチェックツールでも警告が出ない状態が保たれています。</p>
供給者関係		
29	ピアクラウドサービス事業者の情報セキュリティ水準	<p>帳票DXでは、Amazon Web ServicesのAWSを利用しています。  当該サービスでは以下URLに記載される認証資格を取得していることに加え、当社が当該サービスを利用するにあたり、必要なセキュリティ水準を満たしていることを確認しております。</p> <p>AWS  <a href="https://aws.amazon.com/jp/compliance/programs/">https://aws.amazon.com/jp/compliance/programs/</a></p>
情報セキュリティインシデント管理		
30	情報セキュリティインシデント管理の割当て及び手順	<p>お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント（データの消失、長時間のシステム停止等）が発生した場合は、インシデント発生してから1時間以内を目標に、HP等で通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発生した障害について、以下の情報をHP等で通知します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- お客様による回避策がある場合、その内容</li> <li>- 製品側で暫定または恒久対策を実施した場合、その内容</li> <li>- 復旧に時間がかかる場合、その進捗状況</li> </ul> </li> </ul>
31	情報セキュリティ事象の報告	<p>情報セキュリティインシデントに関する問合せは、「オペサポートサービス」より受け付けています。  オペサポートサービス   <a href="https://spc.opro.net/hc/ja">https://spc.opro.net/hc/ja</a></p>
32	潜在的なデジタル形式の証拠	<p>裁判所からの証拠提出命令など、法的に認められた形でお客様のデータの提供を要請された場合、当社は、お客様の許可なく、必要最小限の範囲で、お客様情報を外部に提供する可能性があります。</p>
順守		
33	クラウドサービスを管轄する法域	<p>お客様と当社との間の契約は、提供条項に基づいて解釈されるものとします。</p> <p>提供条項：準拠法は日本法とし、本契約に関する紛争については、日本国東京地方裁判所又は東京簡易裁判所をもって、第一審の専属管轄裁判所とします。</p>
34	関連する法的要求事項	<p>当社がデータオペティマイズソリューションを提供するにあたり、関連する法令としては、以下が該当します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報の保護に関する法律</li> <li>・ サイバーセキュリティ基本法</li> <li>・ 不正競争防止法</li> <li>・ 電子帳簿保存法</li> </ul>
35	知的財産権の順守	<p>当社は、データオペティマイズソリューションを提供するにあたり、社内規程により、知的財産権の遵守方針を確立しています。</p> <p>また、データオペティマイズソリューションの提供条項において、財産権に関する条項を定めています。</p>
36	記録の保護	<p>お客様から預かったデータを適切に保護することは、当社の責任です。お客様データは、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、当社のシステム運用担当しかアクセスできない、限られたアクセス権のもとで保管されます。</p>
37	暗号に関する協定、法令及び規則の順守	<p>データベースに保管される、お客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は、暗号化されて、適切なアクセス権のもとで保管されます。</p> <p>また、パスワードは、ハッシュ化された状態で、データベースに保管されます。データベースのバックアップデータは暗号化されずに保管されますが、暗号化されたストレージ上でアクセス権が限定された状態で保管されます。</p> <p>お客様の端末と、システムとの間のインターネット通信は、TLS.1.2によって暗号化されます。</p>
38	情報セキュリティ管理策実施の立証	<p>当社では、データオペティマイズソリューションを対象に、外部組織による客観的な評価としてISO27001、ISO27017、プライバシーマークを取得しております。</p> <p><a href="https://corp.opro.net/about/company/">https://corp.opro.net/about/company/</a></p>